



第1問 家族・家庭生活，保育，高齢者に関する各問いに答えなさい。

1 家族・家庭生活に関する(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の条文は，家族に関する法律に示されているものである。民法の条文ではないものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a 婚姻は，戸籍法（昭和22年法律第224号）の定めるところにより届け出ることによって，その効力を生ずる。
- b 夫婦は同居し，互いに協力し扶助しなければならない。
- c 妻が婚姻中に懐胎した子は，夫の子と推定する。
- d 嫡出でない子は，その父又は母がこれを認知することができる。
- e 出生の届出は，十四日以内（国外で出生があつたときは，三箇月以内）にこれをしなければならない。

(2) 民法における親族の範囲（第725条）によれば，自分からみて，「いとこ」は何親等に当たるか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 1親等
- b 2親等
- c 3親等
- d 4親等
- e 5親等

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

女性の同性愛者，男性の同性愛者，両性愛者，「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人を表す言葉の頭文字を組み合わせた呼称である。

- a LGBT b LGBTI c LGBTQ d SOGI e MTF

2 保育に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の条文が示されている法律名を、下の a ~ e から一つ選びなさい。

工

使用者は、六週間（多胎妊娠の場合にあつては、十四週間）以内に出産する予定の女性が休業を請求した場合においては、その者を就業させてはならない。

2 使用者は、産後八週間を経過しない女性を就業させてはならない。ただし、産後六週間を経過した女性が請求した場合において、その者について医師が支障がないと認めた業務に就かせることは、差し支えない。

3 使用者は、妊娠中の女性が請求した場合においては、他の軽易な業務に転換させなければならない。

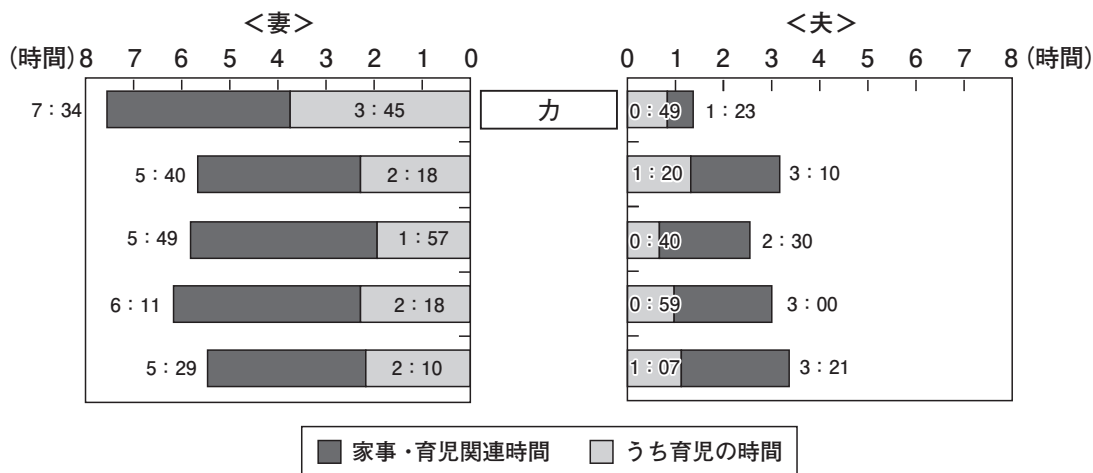
- a 民法 b 労働基準法 c 母子保健法 d 男女雇用機会均等法
e 育児・介護休業法

(2) 次の説明文に該当する防衛機制の名称として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

赤ん坊のように振舞って親の気を引こうとするなど、未熟な発達段階に戻り、子どものような言動をとることで不安を避けようとする行動。

- a 置き換え b 抑圧 c 合理化 d 否認 e 退行

(3) 次の図は、6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり）の国際比較を示したものである。図中の に該当する国名として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。



- (備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成28年)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. “American Time Use Survey” (2016) 及び Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men” (2004) より作成。
 2. 日本の値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)。

6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり、国際比較）
 〈内閣府男女共同参画局 男女共同参画白書 令和元年版より作成〉

- a フランス b ドイツ c 日本 d スウェーデン e 米国

3 高齢者に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) 高齢者の食事介助のポイントとして適切でないものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 食べやすいように魚の骨をとったり、食器の位置を工夫したりする。
- b 相手と目の高さを合わせて向き合い、スープやみそ汁など飲みこみやすいものから食事を始める。
- c 口腔内に食べ物が残っていないことを確認し、お茶などを飲んでもらう。
- d 浅く腰掛け、背筋をのばし、やや前かがみの姿勢が保てるようにする。
- e 足が床に届かない場合は、台などを置いて安定させる。

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として設置される。

- a 公民館
- b コミュニティセンター
- c ボランティア・センター
- d 地域包括支援センター
- e ケアハウス

(3) 福祉に関する専門職の説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 社会福祉士は、精神障害のある人の社会復帰に関する相談・援助を行う。
- b 介護福祉士は、身体上、精神上の障害等により日常生活を営むのに支障がある人に対して、専門的知識及び技術を持って福祉に関する相談援助を行う。
- c 精神保健福祉士は、身体上、精神上の障害等により日常生活を営むのに支障がある人に対して、専門的知識及び技術を持って心身の状況に応じた介護や介護指導を行う。
- d 理学療法士は、身体や精神に障害のある人々に対して、基本的動作能力の回復を図るための療法を行う。
- e 作業療法士は、両眼視機能の回復のための矯正訓練及びこれに関する検査を行う。

(4) 次の説明文に該当するマークとして適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

コ

噛む力や飲み込む力に対応して食事が楽しめるように、食感や食品のかたさを調節した食品に表示されている。

a



b



c



d



e



第2問 食生活に関する各問いに答えなさい。

1 栄養・食品に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) たんぱく質の栄養的特徴として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a たんぱく質を摂取した場合、1g当たり約9kcalのエネルギーを発生する。
- b たんぱく質は約20種類のアミノ酸が多数結合したものであり、ペプシン、トリプシン、リパーゼなどの消化酵素により分解され小腸から吸収される。
- c たんぱく質を構成するアミノ酸のうち、体内で合成できない9種類のアミノ酸を必須アミノ酸という。こんぶのうまみ成分であるグルタミン酸は、代表的な必須アミノ酸である。
- d たんぱく質の栄養的な価値は、アミノ酸価で示される。これは食品に含まれる必須アミノ酸含量をもとに算出した値であるが、一般的に、植物性たんぱく質のほうが動物性たんぱく質よりもアミノ酸価は高い。
- e アミノ酸価の低い食品でも、不足する必須アミノ酸を多く含む他の食品と組み合わせることにより、栄養的な価値を高めることができる。これをたんぱく質の補足効果という。

(2) 大豆の加工品について正しく説明しているものの組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。 イ

- ① 大豆を炒って挽いたものが、きな粉である。
- ② 大豆を加熱し、こうじ菌を使って保温・発酵させたものが納豆である。
- ③ 大豆を加熱・粉砕してしぼったものが豆乳であり、残ったものが湯葉である。
- ④ 豆乳を発酵・凝固させたものが豆腐であり、それを揚げたものが油あげである。
- ⑤ 大豆を保温して発芽させたものが、もやしである。

a ①・② b ②・③ c ③・④ d ④・⑤ e ①・⑤

- (3) 次の表は加工食品に付けられる栄養成分表示例であるが、これは何という法律に基づく表示か。下の a～e から一つ選びなさい。

ヨーグルト（発酵乳）

栄養成分表示 1本（112mL）当たり

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量	カルシウム
76kcal	3.6g	0.67g	13.9g	0.12g	129mg

- a JAS法 b 食品衛生法 c 健康増進法 d 食品表示法
e 食育基本法
- (4) 食品添加物に関する説明として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 使用できる食品添加物は、農林水産大臣が指定添加物として基準を設定したもののみである。
- b 動物実験などの結果から安全性が確認された量の $\frac{1}{1000}$ を1日あたり摂取許容量（ADI）と定めており、これより少ない量を使用基準としている。
- c ハムなどに添加されているソルビン酸や安息香酸ナトリウムは、かびや微生物の発育を制御し、食品の保存性を高めるために用いられている。
- d レモンやオレンジに使用される亜硫酸ナトリウムや次亜塩素酸ナトリウムは、かびを防止する目的で添加されている。
- e 食品添加物を使用した場合、キャリーオーバーを含め、すべての添加物の表示が義務付けられている。

2 献立と調理に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) ゲル化剤であるゼラチンと寒天についての説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a ゼラチンは、動物の骨や皮から得られるコラーゲンが主成分であるため、必須アミノ酸も多く含まれており、たんぱく質としての栄養価は高い。
- b ゼラチンは、板状や粉状などで市販されており、40~60℃の加熱で溶解し、10℃以下に冷却するとゲル化する。
- c コラーゲンのアミノ酸組成は、動物によって異なるためゼラチンの性質も異なっており、魚由来のゼラチンはゲル化温度・融解温度ともに、牛骨や鳥皮由来のものよりも高い傾向にある。
- d 寒天は、テングサなどの紅藻類から得られる植物性たんぱく質（アガロース）が主成分である。棒寒天や粉寒天として市販されており、90℃以上で加熱溶解し、40℃以下に冷却するとゲル化する。
- e 寒天ゼリーに生のパイナップルやキウイフルーツを加えると、たんぱく質分解酵素が寒天の成分を分解してしまい、ゲル化しにくくなる。

(2) 次の表は、かぼちゃの煮物（1人分）の材料と分量を示したものである。これをもとに4人分の調理をする場合、しょうゆの使用量として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

材料・分量（1人分）

かぼちゃ	だし汁	砂糖	塩	しょうゆ
100g	50g	6g	0.3g	1.5g

- a 小さじ $\frac{1}{4}$
- b 小さじ $\frac{1}{2}$
- c 小さじ 1
- d 小さじ 1 と $\frac{1}{2}$
- e 小さじ 2

(3) 卵の調理特性と調理例についての説明として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 卵の熱凝固性を利用した代表的な調理例がゆで卵や目玉焼きである。加熱の場合、卵白は60℃、卵黄は80℃からゲル化が始まる。
- b 卵は希釈性があり、だし汁や牛乳と混ざりやすい。卵豆腐を作るときの重量比は卵1に対して、だし汁2が基準である。
- c ポーチドエッグは卵の熱凝固性を利用した調理例である。沸騰水に酢を加えるのは熱凝固を促進するためである。
- d 卵白には起泡性があり、かくはんすると泡立つ。この特性を利用してマヨネーズが作られる。
- e 卵黄中のレシチンは強い乳化性をもち、水と油を結びつける働きがある。この特性を利用して茶碗蒸しやカスタードプリンが作られる。

(4) おせち料理の名前とその由来（意味）についての説明として、適切なものの組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。

- ① 田作りはいわしの幼魚を乾燥・調理したものであり、昔はこれを肥料として田にまいて豊作を願ったことからその名がついた。
- ② 昆布巻は巻物と同じ意味から、文化の発展を願うものである。
- ③ 黒豆の「まめ」は丈夫で健康なことを意味することから、子孫の繁栄を願ったものである。
- ④ お煮しめは、野菜などを鍋に入れて煮しめたもので、家族がなかよくいっしょに結ばれるという意味が込められている。
- ⑤ きんとんは「金団」と書き、財宝という意味があり、豊かな生活が送れるようにとの願いが込められている。

- a ①・③・④ b ①・④・⑤ c ②・④ d ②・⑤
e ③・⑤

3 食をめぐる課題に関する (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 食の外部化・簡便化について適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

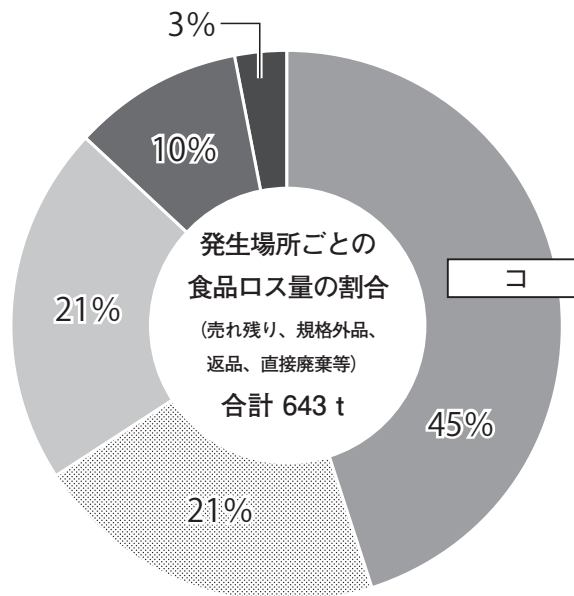
ケ

- a 食の外部化の背景としては、単身世帯の増加、高齢者世帯の増加、女性の社会進出などがあげられる。
- b 外食率は1975年以降増加し続けている。
- c 食の外部化・簡便化に伴い、孤食や個食の割合は減少している。
- d 近年では中食の利用が増加傾向にあり、内食の機会も増加している。
- e 外食は家庭外の飲食店で食べる食事のことであるが、出前や宅配ピザも外食に含まれる。

(2) 次の図は、日本の食品ロス量の割合を発生場所ごとに示したものである。図中の

コ

コ



農林水産省 「発生場所ごとの食品ロス量 (平成28(2016)年度推計)」

- a 一般家庭
- b 食品製造業
- c 食品卸売業
- d 外食産業
- e 食品小売業

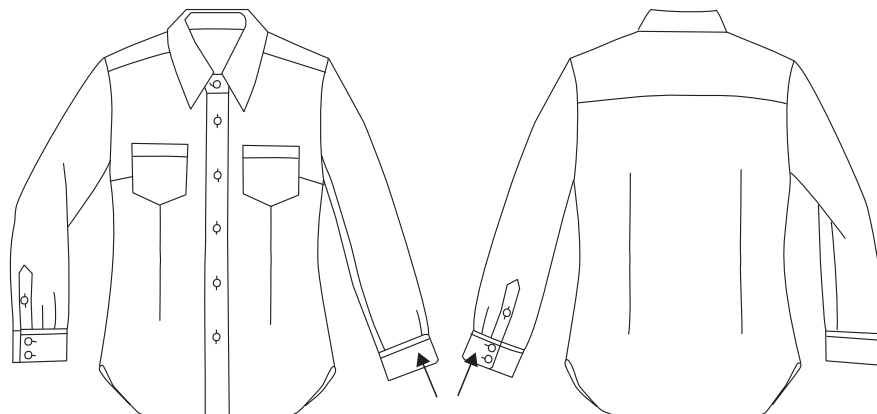
第3問 衣生活, 住生活に関する各問いに答えなさい。

1 衣生活に関する (1) ~ (5) の問いに答えなさい。

(1) 各ライフステージにおける衣生活との関わりについて説明した文のうち適切でないものを, 次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 幼児期は, 体温調節やひとりでの脱ぎ着がしやすい衣服が適している。
- b 児童期は, 自分の好みの服を着たいという欲求が芽生える。
- c 青年期は, よりおしゃれに関心を持つようになり, 流行にも敏感になる。
- d 壮年期は, 職業や集団の中での場面にふさわしい衣服が求められる。
- e 高齢期は, 動きやすさよりも着脱しやすい衣服が適している。

(2) 次の図は, シャツの前と後ろを示している。矢印の部位の名称として適切なものを, 下の a ~ e から一つ選びなさい。



- a ダーツ
- b 剣ぼろ
- c カフス
- d 前立て
- e ヨーク

- (3) 次の図と説明文は、ある繊維の顕微鏡写真（側面・断面）とその特徴について示したものである。文中の（ ① ）と（ ② ）に該当するものの組み合わせとして適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

（ ① ）は、表面に鱗片（スケール）があり、それらが不規則に重なっている。そのため、揉んだりすると表面の鱗片が絡み合って縮充（フェルト化）する。この繊維は（ ② ）。

- | | |
|-------|--------------------|
| ① あ 綿 | ② か 肌触りがよく、アルカリに強い |
| い 絹 | き 光沢があり、吸湿性が大きい |
| う 毛 | く 弾力性があり、保温性に富む |

a あ・か b い・き c う・か d あ・く e う・く

- (4) 次の取り扱い表示記号の意味として適切でないものを、下の a～e から一つ選びなさい。



- a 40℃を限度として洗濯機で洗濯ができる。
 b 塩素系の漂白剤だけ使用できる。
 c 200℃を限度としてアイロンかけができる。
 d 石油系溶剤によるドライクリーニングができる。
 e 日陰でのつり干し乾燥がよい。

- (5) 世界各地の伝統的な衣装について、次の①国名と②衣装名の組み合わせとして適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

- | | |
|----------|-----------|
| a ① インド | ② サリー |
| b ① ベルギー | ② キルト |
| c ① イギリス | ② ポンチョ |
| d ① 中国 | ② アオザイ |
| e ① ベトナム | ② チマ・チョゴリ |

2 住生活に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

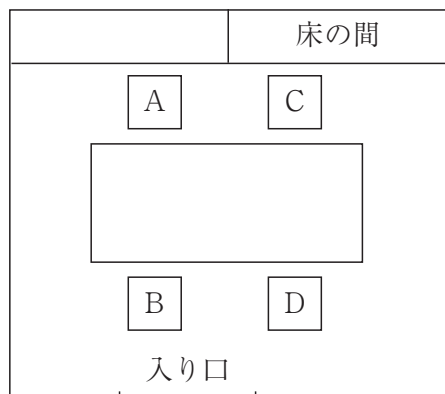
(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

カ

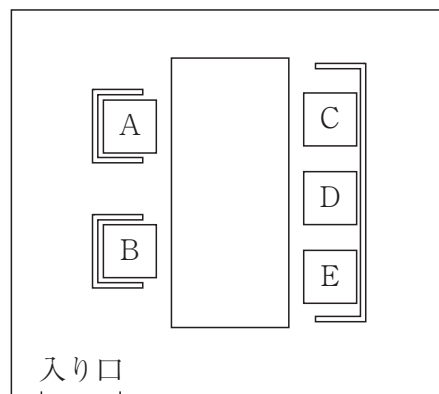
一つの賃貸物件に親族ではない複数の者が共同で生活する住宅のことであり、リビング、台所、浴室、トイレ、洗面所等を他の入居者と共用して、共用部分の利用方法等の生活ルールが設けられていることが多い点が特徴とされている。

- a コレクティブハウス
- b グループホーム
- c コーポラティブハウス
- d シェアハウス
- e サブスクリプション住宅

(2) 次の図は、和室と洋室の席次について示したものである。①和室②洋室における上座の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 キ



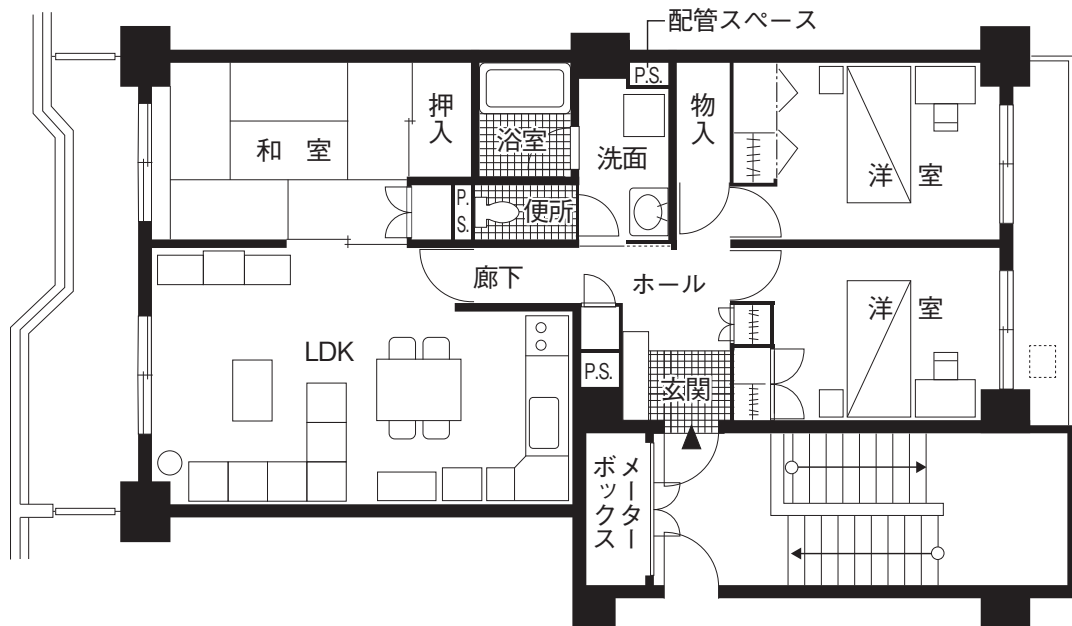
①和室



②洋室

- a ① C ② A
- b ① B ② D
- c ① C ② C
- d ① D ② E
- e ① A ② B

(3) 次の図は、住居の平面図を示したものである。下の①・②の問いに答えなさい。

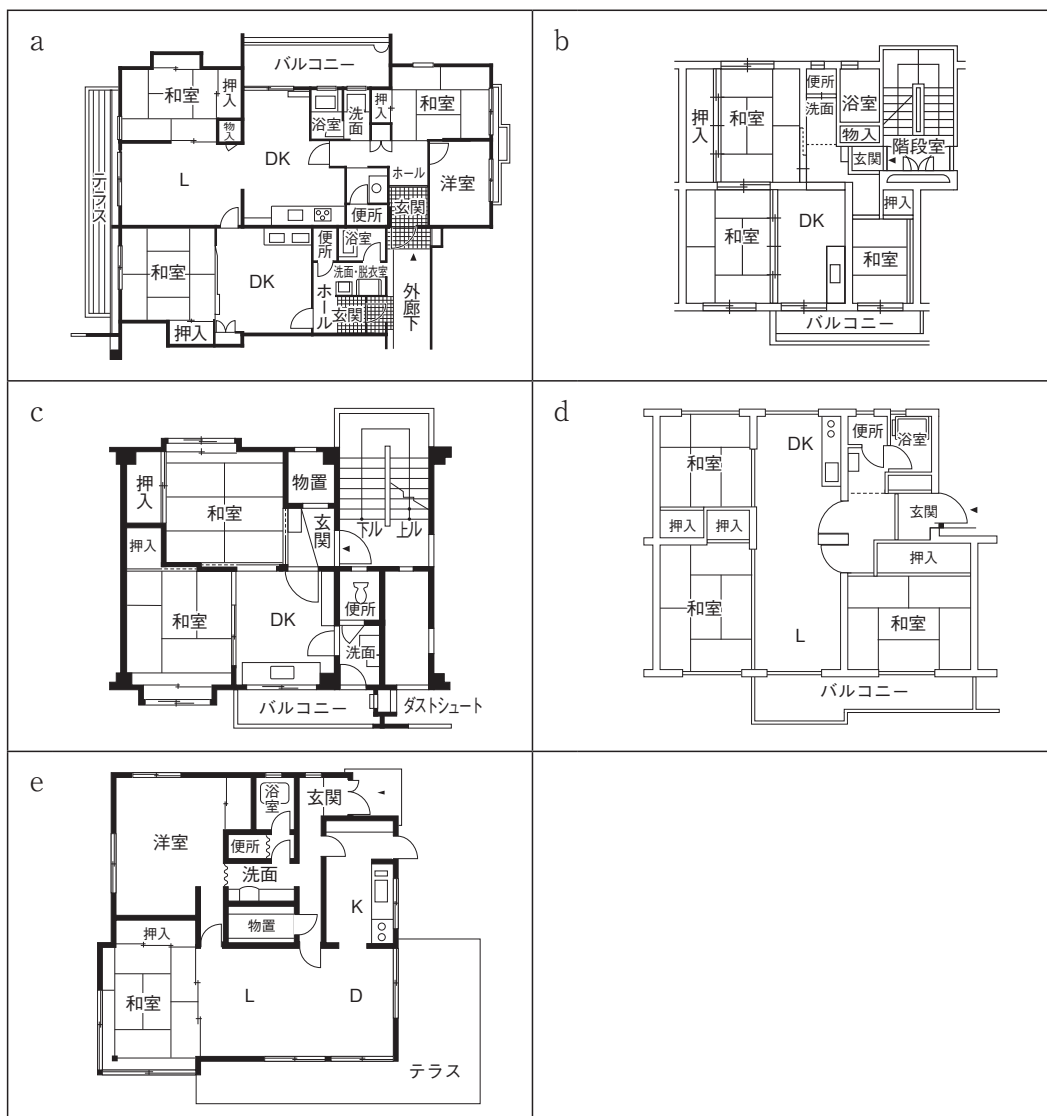


① 次の文は、この平面図における動線を示したものである。文中の（ア）～（ウ）に該当する平面表示記号の組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。 ク

玄関に入り、ホールを直進して、（ア）をあけ、洗面所で手洗いとうがいをした。その後、和室に向かうため廊下を通して（イ）をあけ、LDKを通り（ウ）をあけ、和室に入った。

	ア	イ	ウ
a	片引き戸	片開き扉	引き違い戸
b	引き込み戸	片引き戸	片引き戸
c	片引き戸	片開き扉	両引き戸
d	引き違い戸	片引き戸	引き違い戸
e	引き込み戸	片開き扉	片引き戸

② 前ページの平面図と同様の3LDKの間取りとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。



(4) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

地球環境を保全するという観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住み手が主体的にかかわりながら、健康で快適に生活できるよう工夫された住宅、およびその地域環境をいう。

- a エコハウス
- b ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）
- c LCCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）住宅
- d 認定低炭素住宅
- e 環境共生住宅

第4問 消費生活，環境に関する各問いに答えなさい。

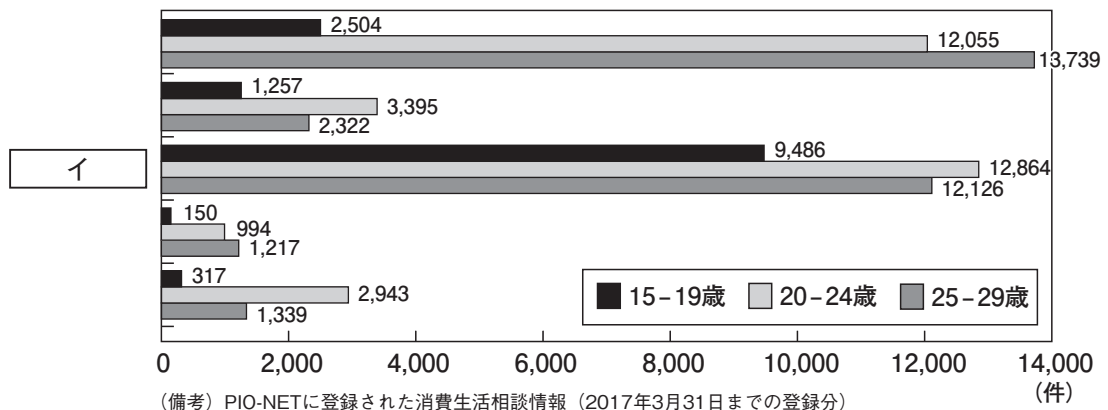
1 消費生活に関する(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 成年年齢の引下げに伴い変更するものとして適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a クレジットカードの契約ができること。
- b 公営ギャンブルに係る馬券等の購入ができること。
- c 有効期限5年のパスポートを取得できること。
- d 国民年金の納付義務が生じること。
- e 中型・大型免許が取得できること。

(2) 次の図は，消費者トラブルに関する相談件数について示したものである。図中の に該当するものとして適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

年齢層別販売購入形態別相談件数（2016年）



〈消費者庁 平成29年度版 消費者白書〉

- a マルチ取引
- b 店舗購入
- c インターネット通信販売
- d 電話勧誘販売
- e 訪問販売

(3) 消費者ホットラインに該当する電話番号として適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a 118
- b 188
- c 171
- d 189
- e 114

(4) 契約には該当しないものを，次の a～e から一つ選びなさい。

工

- a レンタルショップでDVDを借りる
- b コインロッカーに荷物を預ける
- c 映画館で映画をみる
- d 電車に乗る
- e 友人と遊園地に行くための待ち合わせをする

(5) 次の表は，給与明細について示したものである。可処分所得として適切なものを，下の a～e から一つ選びなさい。

オ

25歳 10月給与明細 (例)

(円)

支給額	基本給	各種手当					計 72,400
		家族手当	住宅手当	勤務地手当	通勤手当	時間外勤務手当	
計 262,140	189,740	0	19,000	19,340	18,850	15,210	
控除額	社会保険料					計 19,021	税金 計 21,890
	健康保険	厚生年金	雇用保険	介護保険	所得税	住民税	
計 40,911	5,278	12,525	1,218	0	6,190	15,700	

- a 148,829円
- b 170,719円
- c 221,229円
- d 240,250円
- e 243,119円

第5問

- 1 次の文は、平成31年2月に告示された「特別支援学校高等部学習指導要領」の「第4章総合的な探究の時間」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

- 1 生徒の障害の状態や 等を十分考慮し、学習活動が効果的に行われるよう配慮すること。
- 2 体験活動に当たっては、 に留意するとともに、学習活動に応じて、中学部又は中学校までの学習を踏まえ、高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行うよう配慮すること。
- 3 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校において、探究的な学習を行う場合には、知的障害のある生徒の学習上の特性として、学習によって得た知識や技能が になりやすいことなどを踏まえ、各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら、具体的に指導内容を設定し、生徒が の課題を解決できるように配慮すること。

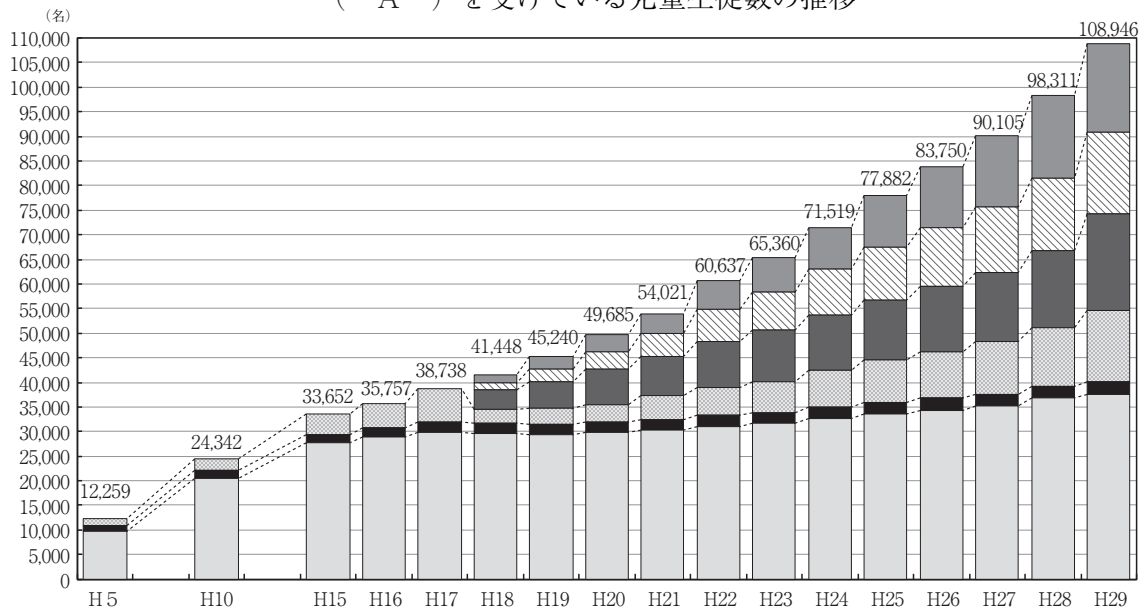
- | | | | |
|---|----------|---------|---------|
| ア | a 日常生活 | b 健康状態 | c 発達の段階 |
| | d 学習の到達度 | | |
| イ | a 時期と回数 | b 安全と保健 | c 内容と場所 |
| | d 環境と衛生 | | |
| ウ | a 限定的 | b 部分的 | c 断片的 |
| | d 固定的 | | |
| エ | a 自ら | b 学校 | c 地域 |
| | d 社会 | | |

3 公立の小学校，中学校，義務教育学校，中等教育学校の前期課程において，通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が，一部の授業において，障害に応じた特別の指導を受ける制度がある。

次のグラフは，この指導形態の対象となった児童生徒数の推移と，主たる障害種ごとの人数の内訳を表したものである。

特別支援教育の現状 ～ (A) の現状 (平成29年5月1日現在) ～

(A) を受けている児童生徒数の推移



(文部科学省公表資料より)

(1) この指導形態の制度の名称 (A) として正しいものを，次の a～d から選びなさい。

- a 取り出しによる指導
- b 個別対応による指導
- c 通級による指導
- d 特別支援学級による指導

(2) 平成18年度から対象となる障害種が追加されたが，新たな障害種の組み合わせとして正しいものを，次の a～d から選びなさい。

- a 病弱，視覚障害，聴覚障害
- b 知的障害，学習障害，自閉症
- c 注意欠陥多動性障害，情緒障害，自閉症
- d 注意欠陥多動性障害，学習障害，自閉症

(3) (A) の指導形態については、平成30年度より高等学校においても制度化がなされている。制度化に伴い障害に応じた特別の指導について単位認定が可能となったが、障害に応じた特別の指導を行う場合には、特別支援学校高等部学習指導要領におけるある指導領域の内容を参考することとなっている。参考とする指導領域として、正しいものを次の a～d から選びなさい。

- a 自立活動 b 道徳 c 特別活動 d 総合的な探究の時間



